

令和4年度 滋賀森林管理署重点取組事項

◆公益重視の管理経営の一層の推進

鳥獣被害対策

◆シカ被害対策

米原市や大津市、甲賀市、東近江市の国有林において、関係機関と連携し、協定締結による捕獲等地域の実情に応じた方法により、効率的にシカの捕獲に取り組みます。

◆カワウ被害対策

伊崎国有林（近江八幡市）において、有識者の指導・助言の下、滋賀県等と連携し、営巣状況や森林影響調査等に取り組みます。



◀くくりわな(小林式誘引捕獲)によるシカ捕獲



カワウによる森林影響調査▶

治山対策等の推進

◆国土の保全、安全で安心な暮らしを守るため、次の取組を推進します。

- ・平成30年豪雨等による山地災害箇所への復旧整備
- ・生活・社会インフラ周辺の危険木の早期除去、住民対応の推進



▲治山対策(山腹工事)

間伐等森林整備の着実な推進

◆地球温暖化防止、水源かん養等公益的機能の維持増進を図るため、奥島山国有林（近江八幡市）において、森林整備（搬出間伐等）を着実に推進します。



▲森林整備事業(搬出間伐)

◆地域の林業成長化に向けた貢献

事業の低コスト化と民有林への普及

◆国有林で実施している、コンテナ苗を活用した伐採と造林の一貫作業システムや立木を利用したシカ対策（防護柵）、ICTを活用した森林調査等の低コスト化に資する取組について、現地検討会等を開催し、民有林への普及を図る取組を推進します。



▲地上レーザースキャナによる森林調査

市町等を中心とした民国連携の強化

◆管内市町等と連携・協力関係を強化し、ニーズ等を踏まえ、国有林のフィールド等を活用した技術的支援、人材育成支援に取り組みます。
◆（一社）滋賀県造林公社との森林整備協定に基づく、路網の相互利用等による間伐の促進等について引き続き取り組んでいきます。



▲市町担当者へのドローン操縦及びオルソ画像作成の技術支援

◆国民の森林としての管理経営

◆「レクリエーションの森」のうち特に魅力的な自然景観を有する箇所として「日本美しい森 お薦め国有林」に選定された近江湖南アルプス自然休養林（大津市、栗東市）において、観光資源としての魅力を高めるため、引き続き修景伐採（景観を損なう木の伐採）などの環境整備を実施していきます。



▲金勝山国有林での修景伐採